

恵方

JJ1SXA/池

話題としては遅いのですが、今年の節分は 2 月 3 日、豆まきをしたり、恵方を向いて恵方巻を丸齧りした方もいることでしょう。

恵方というのはその年に美しき歳徳神がいるとされる縁起の良い方角ということで、セブンイレブン等には、恵方巻の宣伝と共に「今年の恵方は、おおよそ南南東」と書き出されていましたが、南南東というのは西洋式の 16 分割した方位の名称、それに対して恵方をいう時の方位は中国式の 24 分割した方位ですので、「丙の方位」と「南南東」は少しズレています、正しくは、「丙の方位・南微東＝ミナミ・ビトウ」が正解。

磁石で南南東は 157.5 度、丙の方位は、157.5 度～172.5 度（中心 165 度）、南南東は、ぎりぎり丙の方位で、丙の方位の中心からは、7.5 度もずれています、なお、立川市の偏角を調べたら、7 度弱（西偏）です、そうすると、南南東は、元の位置より 7 度西の 150.5 度、丙の方位から、南南東は大きくハズれます、南方向から 8 度東寄りか丙の方位の中心です、むしろ南南東より南の方が合っています。

磁石で、恵方を探るなら、場所により偏角値は違いますので、偏角を調べ、磁北と真北の差を考えて探す方が良いでしょう、多摩地方は、立川市の偏角 7 度弱とほぼ同じです。

来年 2017 年(平成 29 年)の恵方は、「丁(ひのと)の方位・北微西＝キタ・ビセイ」です、大体こっちの方角だろうで良い人は別にして、一生懸命磁石で正確に方位を合わたいと思っている人は、以上を参考にして、方位を合わせて恵方巻きを齧ってください。

過去に以下のような記事を書いています。

「恵方は、北北西？」(TWO-FORTY 第 67 号…平成 19 年 3 月発行)

「真北と磁北」(TWO-FORTY 第 70 号…平成 20 年 3 月発行)

磁気偏角、磁気偏角一覧図、日本測地系から世界測地系へ変換等は、国土地理院の HP の内容を参考にしました。

恵方はともあれ、固定局、移動局を問わず、ビームアンテナの向け方ですが、真北と磁北や磁気偏角の知識があった方が良いでしょう。

もっとも磁石で方位を合わせ、ビーム方向を求め偏角を考慮しても、その方向に山あり谷ありで地形により伝播状況は左右されます、完全見通しで無ければ、磁石で合わせた方位は参考値です、実際の信号強度で修正しなければなりません。

間もなく、電波伝搬実験の日が近付いてきます、私は移動地選びに苦労しています、コントロール局の移動地から概ね 300km 以内、ある程度標高が高く、北方面の移動なら、東、西、南に開けていて、且つ近くに温泉宿があることが条件ですから、結構難しい、近年、旅行の回数が減ったので、伝搬実験が即温泉宿への一泊旅行です、どちらがメインかと問われると??です hi